

夢咲楽



～和輪話通信～

目次	■ 「馬とふれあってみよう！」体験を実施しました…………… 1	■ プロゲーマーになる!? …… 3
	■ 子どもたちの安全・安心を守るために「地域」でできること 2	■ 「親子で挑戦!冒険登山」他 4

「馬とふれあってみよう!」体験を実施しました

令和3年7月30日 体験活動班では、さくら市内の小学4～6年生30名を対象に「馬とふれあってみよう!」体験を実施しました。多様な動物への関心や思いやりの気持ちを育むきっかけとなるよう企画したこの体験で、参加者たちは馬の大きさに驚きながらもブラシをかけたり、馬房を掃除したりする活動を熱心に行っていました。



11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。

ちやうどいい! さくら市



さくら市
SAKURA CITY

子どもの安全・安心を守るために 「地域」でできること

子どもたちが、登下校中に交通事故や犯罪に巻き込まれる痛ましい事件・事故が後を絶ちません。交通事故や暴行、傷害、誘拐等の発生時間は子どもたちの登下校の時間に集中しているといわれています。

子どもたちが安全・安心に生活できるように、さくら市でも学校・地域・行政が一体となり、様々な取り組みを行っています。



この看板が目印です

子ども110番の家

地域で子どもたちの安全を守るためのボランティア活動のひとつで、困った事があったときや助けを求めたいときに子どもたちが駆け込める家やお店のことです。子どもたちの保護や警察への連絡などをしてくれます。

また、犯罪に限らず、急な雷雨やトイレを借りたいときなども手助けをしてくれる「地域の見守り役」です。

地域と学校の協働を目指して(氏家小学校の取り組み)

氏家小学校では「あいさつ日本一の学校」をスローガンに、あいさつ活動を実施しています。今年子どもたちが自分たちで考え、地域に向けて「あいさつの輪」を広げようとしています。

また、学校運営協議会(※2)でも取り組みを地域に広げようと「あいさつ日本一の地域」を目指した活動が動き出しています。

北原博司校長先生は、『「協働」は大切です。学校、地域、保護者が同じ目標を持ち、「あいさつ日本一の地域」を実現できれば、子どもだけでなく地域の安全・安心につながる。地域のみなさんにも積極的に子どもたちに関わってほしい』と話していました。



このように、さくら市内では各学校、地域ごとに子どもの見守りや地域と学校をつなぐ取り組みが行われています。また、氏家小学校のように、地域と学校が同じ目標にむかって協働する姿もみられるようになりました。

子どもたちにとって安全・安心な地域であるためには、地域の住民一人ひとりが地域に関心を持ち、子どもたちと日頃からあいさつを交わし、顔見知りになることが大切です。まずは、子どもたちの登下校の時間帯に、犬の散歩や花の手入れなどをしながら、地域の子たちを見守る「ながら見守り」から、始めてみませんか。「地域の子たちを地域で見守り育もう」、「地域の安心・安全は地域で守ろう」という意識が、子どもを守り、住みやすい地域を育むのです。

※1)内閣府「児童・生徒の交通事故対策について」平成30年交通安全白書

※2)学校運営に地域の住民が参画し、地域・保護者・学校が一体となって子どもたちを育んでいこうという組織



近年、eスポーツ(※1)の大会等に出場し、観客へ技や戦略を披露する「プログラマー」を目指す子どもたちが増えています。プログラマーは、eスポーツ競技の人気やYouTubeなどでのゲーム実況動画の影響もあり、特にゲーム好きな子どもたちにとって憧れの職業のひとつとなっています。

(※1)Electronic Sportsの略称で、オンラインゲームで対戦し、勝敗を競うものです。



ゲームを
するだけで、
お金がもら
えるの!?

【子どもたちへ】

ゲームが上手ければ、学校へ行かなくて良い?

プログラマーは、ゲームだけをやっていればいい夢の職業? そんなことを思う人もいるかもしれませんが他のプロスポーツ選手同様、簡単になれるものではありません。

プログラマーを目指す人の中には、「プログラマーになるから学校には行かない」「勉強は必要ない」と学校へ行かなくなってしまう人たちがいます。プロである以上、ゲームの実力は大切でしょう。しかし、それだけでプログラマーになれるのでしょうか。

どんな職業であっても「社会の中で働く」ことには変わりはありません。社会で働くための一般常識やわかりやすく物事を伝える力、周りの人と協力して問題を解決する力など、いろいろなことを身につけていかななくてはなりません。学校は、勉強をするだけでなく社会に出るための練習を重ねる場でもあります。将来、あなたが「なりたい大人」になれるように、学校生活や勉強にも力を入れてほしいのです。

【保護者のみなさまへ】

「プログラマーになりたい」と言われたら?

「ゲームを仕事にするなんて…」そんな言葉が出てしまうかもしれません。確かに、プログラマーは新しい職業で、実際に活躍している人を見る機会も少ないかもしれません。しかし、eスポーツ人気の高まりやICT技術等の進化により、急速に発展している分野でもあります。近い将来、今よりもっと身近で当たり前の職業になっているかもしれません。

将来のなりたい姿や具体的な目標を持つことは、子どものやる気を引き出し、努力するきっかけになることもあります。まずは、お子さんの可能性を信じ、頑張る目標が見つかったことを一緒に喜んでみてはどうでしょう。

プログラマー?
そんなに簡単
になれるものなの…?



「親子で挑戦!冒険登山」 を実施しました

令和3年11月7日 体験活動班では、さくら市の小学1～3年生とその保護者を対象に宇都宮市冒険活動センターでの登山体験を実施しました。

参加者たちは、親子で協力し合いながら暗いトンネルの中を進んだり、険しい山道を登ることができました。秋の訪れを感じるとともに、親子が同じ目標に向かって一緒に頑張る姿が見られる体験となりました。



11月21日(日)は『家族の日』

人と人とのつながり、家族の絆に目を向けるきっかけづくりを目的に11月21日を『家族の日』としています。
あなたの『家族』との時間をもう一度見直してみませんか？



やっぱり、家族っていいね。

家族の日 家族の週間

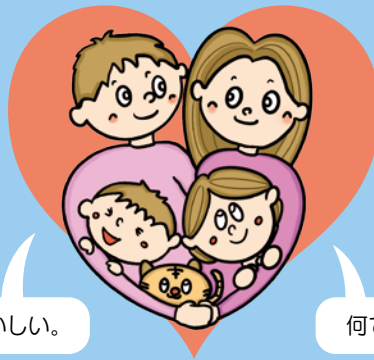
家族の日は、11月第3日曜日 家族の週間は、家族の日 前後各1週間

1日のはじまりは家族への「おはよう」から！

子どもと接していると、自然と笑顔が多くなる。

「いただきます」ってしばらく言ってないかも。

やっぱり家族で食べるごはんっておいしい。



「ごはんたよー！」団らんがはじまる一言。

子どもの成長を感じる時が、一番の幸せ。

「ただいま」って言ったら、「おかえり」って言ってくれる。

また、くつが小さくなって。あつという間だな。

何でも言いあえる家族って素敵だね。



とちぎの元気な子ども育て隊!!
～とちぎの子ども育成憲章 マスコットキャラクター～



ただいま、おかえりって言いあえるまじに
みんなで広げよう
シトラスリボンプロジェクト
INとちぎ
わたしたちは
シトラスリボンINとちぎ
に参加しています

「わわわ隊」とは

「(和)やかに(輪)になって(話)そう。」という、青少年センター少年育成サポーターのみなさんの思いから、「わわわ隊」という愛称がつけられました。

■広報啓発班・ICT研究班

飯島 満 ・ 大河原 千晶 ・ 岡村 浩雅 ・ 福田 克之 ・ 村上 佳彦 ・ 森山 京逸

さくら市の
子どもを
みんなで育てよう



ゆめさくら わわわつうしん
夢咲楽～和輪話通信～ 第44号
発行日 令和3年11月21日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyuu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp